



# コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。



在宅でのリハビリ指導を行う土光先生

5月より老健あかねに勤務しています。78年間を振り返りますと、スポーツを楽しんだ25歳までと医師になってからの研究を生活やその延長にあった米国での留学生生活、岡大や川大での臨床や研究の30年間、自治体や公共団体での管理職の15年間と老健施設でのご奉公が9年目の人生です。あかねに来る前の老健でも、小生より少し年長の方々となるべく仲良く、

## 老健あかねに赴任して

医師 土光 莊六

28歳の頃、1・5年程、水島中央病院に勤務しゴルフを始めました。59歳から週1回ラウンド出来る様になり、63歳でシングルになり、ホールインワンやエージシユートも達成できましたが、昨年6月にやめました。岡山の家から約1時間の道程ですが、体力や気力もついで頑張りたいと思っと思っていますが、皆様の温かい支援やご指導をいただけます様お願い致します。

楽しくおつきあいが出来る様に努めてきましたが、笑顔を見続けたいと思いき動めさせていただきました。



山本院長と同期の山田師長とも再会。於・当院回復期リハビリ病棟

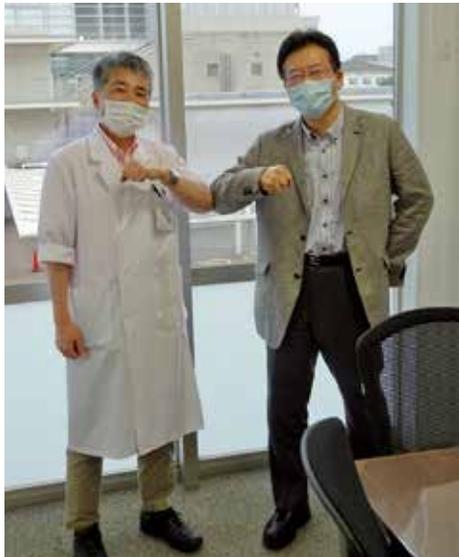
しかし山本先生は冷静です。10年以上前から中央とのパイプで得た病院経営の見聞があります。そこから今の水島地域の現実を見つめなおし、過去の残像におもねることなく環境に適した新しい策を練るでしょう。彼はそれを「攻めるべき道」と表現しました。ハコモノに先立つ事業のリニューアルもこの院長なら安心です。



嚥下や発語にかかわる筋の動きを引き出すところ

この経験以降、患者様とご家族の生活を見ること、退院後を考えて介入するよう心掛けるようになりました。今後も回復期リハビリスタッフの一員として患者様が自分らしい生活を送れるよう支援していきたいと思っいます。

コープリハビリテーション病院  
言語聴覚士 赤木 綾子



互いの契り（山本院長と筆者）

まずは倉敷医療生協を選んでくれた若手医師が共感する医療構想が不可欠です。そして医師以外にも若い職員は玉協、コープなど外の現場を経験し参考にすべ

話を聞いた1人は「良き理解者」に会えた信徒のように涙しました。きものを肌で吸収する、そして経営の視点を養う。この実践が意思統一の第一歩だと山本先生は言います。

## 対談・水島協同病院の新院長

〜キャッチフレーズは「ちよっと入院・ずっと在宅」〜

病院長 鍛本真一郎

水島協同病院の新院長、山本明広先生が亀山真一事務長と共に6月2日来院しました。

出迎えたのはコープリハ・あかね経営を担う5人（写真）。話したことは副題「ちよっと入院・ずっと在宅」にふさわしい事業と、その目的「人が孤立せず健やかに暮らせる医療」の実現です。



リハビリ科 佐藤科長



水島協同病院 亀山事務長



笹館事務長



岡本看護部長



医療福祉相談・連携室 田辺室長

3年間を振り返って  
自分らしい生活を  
送れるよう支援

4月より入職3年目となりました。入職した頃は目の前の患者様の障害ばかりに目が行き患者様を見ていませんでした。障害ではなく患者様をみるということを気づかせてくれたのは、入職1年目に担当させていただいた患者様です。病気の認識が薄く、コミュニケーションや生活動作において受動的で独居復帰は困難でした。机上訓練では問題点が一向に改善されません。

そこで先輩作業療法士と生活動作の問題点の抽出とフィードバック目的で自宅リハビリを実施しました。院内では見ない表情や家での生活を知ることが出来ました。合計7回の自宅リハビリで独居に向けての課題を整理し、フィードバックしたことで病気の認識が芽生え、表出と生活動作が向上し独居復帰となりました。

この経験以降、患者様とご家族の生活を見ること、退院後を考えて介入するよう心掛けるようになりました。今後も回復期リハビリスタッフの一員として患者様が自分らしい生活を送れるよう支援していきたいと思っいます。

入院や入所に際して、部屋代はいただいません。

# コープリハビリテーション病院へ復帰

医師 小田智聡

5月よりコープリハビリテーション病院にてお世話になりました。主に、毎週金曜日午前中の外来を担当させて頂いておりました。

以前も外来を担当させて頂いていた時期もあり、「老健へ入所したがりではなく、家族の負担がある程度軽減されるように自宅と老健を循環していくことで、機能・能力を維持する」という試みは非常に素晴らしいものであると共感しております。また、再び診療に携われることを大変うれしく思っています。また回復期リハビリテーション

ン病棟だけでなく、老健でもしっかりとリハビリを行い、退院後も通

所・外来リハビリを通して機能維持・現状把握を行うことは、皆様



診療中の小田医師

「循環型リハビリ」に再び携われることに喜びを感じており、皆様のお役に立てるように一杯取り組んで参りたいと考えております。どうぞよろしくお願いたします。

# 病棟ラウンドを行って

歯科医師 山崎美佳

現在、当院の歯科は火曜と木曜の午後に診療をしております。

病院内の歯科ですので、外来患者さんのみならず、入院・入所されている患者さんの治療や口腔ケアも担当

します。ある時、鍛本院長と病棟回診を行う機会を頂きました。実際に患者さんの口腔内をみて頂き、歯科的な展望・経過を説明しました。



病棟医からの相談に答える筆者（写真中央）

歯医者とついで、リハビリの先生から見解を聞かせて頂けるのは大変貴重で、なかなかないことです。当院はその機会に多く恵まれる数少ない病院だと感じています。

歯科がある病院は全国的にも限られており（病院の歯科に勤務する歯科医師は全体の3%だけというデータがあります）、入院されている患者さんの歯科治療の機会は失われがちであるのが現状です。そのような中、入院・入所されている患者さんのお口の健康に携わることができるとは大きなやりがいの1つです。またある時は、倉敷中央病院救急科の田村先生の診療を見学する機会を頂きました。これまた歯医者にとってはなかなかない機会です。そもその発端は、連携を深めるにあたって、他科の医師がどんな診療をされているのか知りたいと鍛本院長にお話したことからです。当日は創部の洗浄等の処置を見学しました。その中で特に印象に残ったのは

「傷を治すために何が大切でしょうか？栄養を取ることです」という言葉です。単に虫歯を治す、入れ歯を作る、歯を抜く...ではなく、食べられる口腔を目指すこと。回復期病棟の歯科にとって重要な言葉だと感じました。【余談】その日、義肢の診察も見学させて頂いた。義肢と義歯って似ていませんか？ふと鍛本先生がおっしゃいました。たしかに...!! 型取りをする。義肢装具士（歯科技工士）が作る。こすれると傷になる。装着したら終わりではなく、使って調整がいる。et c... 考えれば考えるほど似ています...

# 新入職員紹介



コープリハビリテーション病院 事務課 藤原 凜 乃



コープリハビリテーション病院 事務課 松永 由 季



老健あかね 介護福祉士 奥村 律子



コープリハビリテーション病院 介護士 河本 菜 摘



コープリハビリテーション病院 介護士 原田 緋代莉

診療表		老健あかね [086-446-6541]					
コープリハビリテーション病院 外来受付時間 8:30 ~ 12:00 [086-444-3212]							
	外来	器具外来	歯科	短時間通所リハビリ	短期集中健幸アップ教室	訪問リハビリ	通所リハビリ
診療時間	午前 9:00 ~ 12:30	14:30 ~ 15:00	午後	9:00 ~ 16:50	9:30 ~ 11:00		9:00 ~ 16:00
月				○		○	○
火	渡辺	○ (予約制)	山崎 (予約制)	○		○	○
水	飯塚			○		○	○
木	太田		山崎 (予約制)	○		○	○
金	小田			○		○	○
土						○	○

医療福祉相談・連携室	
相談受付時間	平日 9:00~12:00 13:30~16:30 土曜日 9:00~12:00 日・祝日 休み



○お問い合わせ先  
倉敷医療生活協同組合  
コープリハビリテーション病院  
老人保健施設 老健あかね  
TEL 086-444-3212(代表)  
受付時間 平日 9:00 ~ 16:30  
土曜日 9:00 ~ 12:00  
(日祝・年末年始を除く)  
〒712-8057  
倉敷市水島東千鳥町1-60  
ホームページ: <http://coopreha.jp/>  
メールアドレス: [info@coopreha.jp](mailto:info@coopreha.jp)  
広報委員会  
発行責任者 笹舘 勝人

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。